

「スパイ防止法」から 「明文改憲」への 流れを断つ!!

—再び“もう遅かった”と言わないために—



「スパイ防止法」に反対する宗教者・信者 緊急全国集会

と き 12月11日(木) 15時～17時

ところ 衆議院第2議員会館 第8会議室

内 容 講演「スパイ防止法」から「明文改憲」への流れを断つ!!

講 師 小沢隆一さん(東京慈恵会医科大学名誉教授)

「スパイ防止法」に反対する宗教者・信者 緊急全国集会

「スパイ防止法」から「明文改憲」への流れを断つ!! ー再び“もう遅かった”と言わないためにー

2025 年 10 月、高市自民党総裁が誕生し右翼総結集ともいわれる政権が誕生した。この 11 月からの臨時国会、または来年の通常国会には「明文改憲」の露払いともいえる「スパイ防止法案」が提出される可能性が大きいといわれています。「スパイ防止法」は戦前の「治安警察法」の様な内容を持ち、現在の治安維持法になるのではともいわれている。

戦前、治安維持法の下で、すべての人々が監視対象となり、そこでは共産主義者だけでなく、社会民主主義者、労働組合関係者、文化人、宗教家など、政府の方針に反対する幅広い人々が弾圧の対象となり、市民の思想や政治活動の自由が根本的に奪われていった。そして治安維持法の下ではお互いが監視する社会が作られ、その中でほとんどの教団・宗教者は「監視する側に立って行動する」という痛恨の過去を持っている。

それは宗教者として「『殺さない・殺させない』という教えを自らの拠り所として生きる」という事を投げ捨て、戦争に協力していく事に一直線につながっていった。

もしこれから開かれる国会で「スパイ防止法」を成立させたなら、私たち宗教者・信者の信仰の自由を監視し、物言えぬ状況を作りだそうとするに違いない。そしてその先に待っているのは「明文改憲」と戦争する国・日本です。

私たち宗教者が再び同じ過ちをくりかえさないために、その蠢動がある今、共に連帯して反対の声を挙げたい。

今回は、急きょ「宗教者・信者 緊急全国集会」として呼びかけました。多数の参加をお待ちします。

- と き 12 月 11 日 (木) 15 時～17 時
- と ころ 衆議院第 2 議員会館 第 8 会議室
- 内 容 講演「スパイ防止法」から「明文改憲」への流れを断つ!!
- 講 師 小沢隆一さん (東京慈恵会医科大学名誉教授)

※集会後、国会議員会館前祈念行動

※希望者に ZOOM 配信します。12 月 6 日まで、念仏者九条の会のメールに申し込んで下さい。(返信メールをもって受付とします)

※参加費はいただきません。しかし、今後の集会の継続のため、カンパをお願いします。

連絡先

○念仏者九条の会 080-5233-3429

Email : odake@orange.ocn.ne.jp

○平和をつくり出す宗教者ネット 090-6711-5573 FAX 03-3461-9367

Email : nqh10948@nifty.com

○日本カトリック正義と平和協議会 03-5632-4444

Email : jccjp@cbcj.catholic.jp

○平和を実現するキリスト者ネット 03-3813-2885

Email : cpnet@mica.dti.ne.jp